

スウェーデン *Sweden*

夏至祭 *Midsommar*

夏の訪れを告げる夏至祭



マイストングを立てているところ [出典:SCANIA]

長く暗い冬が終わり明るい日差しが注ぐ初夏。そんな時期に開催されるのが夏至祭です。夏至祭はスウェーデン語では「Midsommar」と表記され、「ミッドソンマル」と呼ばれます。毎年6月19日から25日の夏至に最も近い土曜日とその前日と合わせて2日間が祝日となり、スウェーデンの最も重要な年間行事の一つとなっています。

その昔は毎年6月23日に祝っており、洗礼者ヨハネを祝うというキリスト教に由来したお祭りでしたが、1953年に移動祝祭日となり現在は夏の到来を祝うお祭りとなっています。

家族・友達と過ごす至福の時間

夏至祭前日には、8種類ほどの草花を摘み、枕の下に置いて寝ると、夢の中に結婚する男性が現れるという言い伝えがあり、女の子にとって楽しいイベントの一つとなっています。

そして夏至祭当日には、民族衣装などを着て広場に家族や友達と集まります。まず最大のイベントである、「マイストング」とよばれる大きな柱を広場の中心に立てることから始まります。マイストングは「五月の柱」という意味で、農作物の収穫を祝い、子孫の繁栄を願う思いが込められています。大きなものでは20mを超える大木に、野の花やモミの葉などを美しく飾りつけるのが伝統です。



手をつなぎ輪になって踊っているところ [出典:SCANIA]

そして掛け声に合わせてマイストングが立てられると、それを中心にして弦楽器やアコーディオンの演奏に合わせて、大人も子供もみんなで手をつなぎ、輪になってダンスを踊ったり歌を歌ったりします。

ダンスなどを楽しんだ後は、ディルという香草を入れて茹でたポテト、マリネしたニシン、季節のデザートやフルーツなどご馳走を楽しみます。またビールの他にシュナプスというアルコール度数の強いお酒がよく飲まれます。かつてバイキングの時代では、このシュナプスを一気に飲みする時に目をつぶってしまったり、一気に飲みできなかつたりしたら、首を切られてしまったとのことで、現在でも男性陣がシュナプスを飲むと

きは、一気に飲みをしなければならず、「スコール(乾杯)」という掛け声とともに片手に持ったシュナプスを一気に飲みする光景がよく見られます。

この時期、スウェーデンの北部では白夜、南部でも数時間薄暗くなる程度であるため、この賑やかな宴は次の日の朝まで続きます。

ディル・ニシン・シュナプスなどの食事
[出典:SCANIA]



参考文献・画像出典

- 西田孝広『北欧の小さな大国「スウェーデン」の魅力150』(雷鳥社, 2018年)
- SCANIA:「スウェーデンの夏至祭、ミッドサマー。夏の到来を祝う伝統的なお祭りをご紹介」 <https://scania-griffin.com/fika-time/culture/2750>

オ ス ス メ の 一 冊



北欧の小さな大国 「スウェーデン」の魅力150

西田 孝広著 (雷鳥社, 2018年)

【請求記号】2930:217

旅行先として人気が高く、可愛らしい雑貨や充実した社会保障など常に注目されている、スウェーデン。しかし、この国はまだまだ知られていない魅力で溢れています。夏至祭も含めた、スウェーデンの観光・アート・社会・慣習・文化・スポーツなど様々なピックについて、その魅力を厳選した本です。

執 筆 者 紹 介

榎田真帆 / 社会学部2年

趣味、サークル、経歴等: Spica, MOS, 澁澤塾

